



(第10期) まつもと子ども未来委員会市内見学の報告

8月1日(木)に、提言のテーマに関係する施設等の見学をし、その後、担当課に話を聞きました。この日は、31人の委員が参加しました。

1 市内見学のスケジュール

9:15	松本市立博物館
9:25 ~ 10:00	歩いて見学(2コース) (1) 松本神社前井戸→タカノバ前→北馬場 柳の井戸 →葵の井戸→松本城公園 (2) 西総堀土塁公園→松本城公園
10:00 ~ 10:30	黒門・太鼓門について ててまがりの井戸(南隅 榎) (旧市立博物館南東)
10:50 ~ 11:40	松本城の歴史やお城の特徴について 松本城研究専門員 小山さん
13:15 ~ 14:20	博物館見学 企画展～生物多様性と松本～→常設展
14:30 ~ 15:30	関係課の方に話を聞く 商業: タカノバ関係者、お城まちなみ創造本部、地域づくり課 交通: 交通ネットワーク課、公共交通課、自転車推進課

2 歩いて見学

- (1) 松本神社前井戸→タカノバ前→北馬場 柳の井戸→葵の井戸→松本城公園

街中にある井戸の場所を確認するため、博物館から行くことができる井戸に行きました。各井戸で実際に手を濡らし、水を飲んで味を確認しました。「冷たいね」と感じながら、井戸の水の感触を確かめました。

松本城から開智学校へ向かう道沿いにある松本国宝の架け橋プロジェクト「タカノバ」を見てきました。新しいお店がオープンして、まちが戻ってきている場所です。お店が開いている時間ではなかったので、お店の中を覗いたり、木で作られた手作りの机やイスに触れたりしてきました。

- (2) 西総堀土塁公園→松本城公園

江戸時代には、三の丸の周囲を土塁がぐるりと取り囲んでいました。現在、土塁の跡が残っているのは、西堀、北馬場、大柳町(総堀の土塁)、片端町、そして東町(捨堀の土塁)の一部だけです。発掘当時の様子や土塁の詳細についてはパネルで説明されており、みんなでそれを読みながら学びました。



3 黒門・太鼓門^{たいこもん}について ててまがりの井戸



黒門・太鼓門^{たいこもん}では、実際の門を見ながら松本城研究専門員の小山さんから説明を聞きました。小山さんは「昔、松本城に来たときは太鼓門^{たいこもん}から入っていた」、「一番大きな石を太鼓門に使用している」、「今歩いている場所は昔はお堀だった」といった具体的な説明をしてくれました。

また、旧市立博物館内にある「ててまがりの井戸」^{のぞ}を覗き見ることができました（「ててまがり」はカタツムリの意味です）。カタツムリの殻^{から}のように渦巻^{うずま}き状^{じょう}に下^{みずく}っていくと水汲み口が現れることから、この井戸にはこの名前が付けられています。昔、松本城の本丸と二の丸には本丸、二の丸、古山^{こさん}地の三つの御殿が建てられており、そのうちの古山地御殿^{こさんじごてん}の井戸です。廃城^{はいじょう}後に取り壊^{こわ}されましたが、明治17年（1884年）には松本中学校（現在の深志高校）が建てられ、その時代にも現役の井戸として使用されていたそうです。



4 松本城の歴史やお城の特^{とく}徴^{ちゆう}について

博物館講堂に戻り、引き続き松本城研究専門員の小山さんから「松本城^{まつもとじょう}の魅力^{みりょく}」についての講義を受けました。小山さんは、松本城が日本最古^{さいこ}の五重六階^{ごじゅうろっかい}の城であることや、地形を巧みに活かしたお城であること、さらにその歴史について詳しく説明してくれました。約1時間にわたり、人気の高い松本城^{まつもとじょう}天守^{てんしゅ}の魅力^{みりょく}についての話を聞きました。



5 博物館見学 企画展～生物多^た様^{よう}性と松本～→常^{じょう}設^{せつ}展



博物館の企画展を学芸員さんの説明を聞きながら見学しました。企画展では、松本市に生息する動物のはく製^{せいぞく}や標本^{せいひょうほん}、珍しい植物^{めず}の写真がたくさん展示されていて、子どもたちは、自分の興味があるものをじっくりと覗^{のぞ}き込んでいました。

常設展の中で一番人気があったのは、「お城のあるまち」のジオラマです。このジオラマでは、松本城の立地や城下町の

都市計画、城下町に住む武士や町人の暮らし、そして周辺の村とのつながりを見ることができます。場所を変えて観察したり、案内パネルを使って気になることを調べたり、双^{そう}眼^{がん}鏡^{きやう}で細部^{さいぶ}を見るなどして楽しんでいました。

6 関係課の方の聞く

(1) 商業について

松本城北側の松本国宝の^か架け橋プロジェクト「タカノバ」の代表である荒井さんと古田さん、さらにお城まちなみ創造本部や地域づくり課の方々が来て、話をしてくれました。

「タカノバ」やりノバージョンした空き家を活用し、開智学校周辺の^{にぎ}賑わいが戻ってきていることに^{ちやくもく}着目し、今回お話を聞く機会を持ちました。

自分たちがもしお店を出すとしたらどのようにするか、どれくらいの費用がかかるのかといった具体的な質問をし、一つ一つ丁寧に回答していただきました。



「タカノバ」の方々の話を聞いて、「もしかしたらできるかもしれない」「やってみよう」「できたらすごいよね」という前向きな気持ちを感じることができました。特に「タカノバ」の方から「失敗してもいいんだよ。やってみたら」という言葉には、背中を押されたようです。

近いうちに何か実現できるかどうかを検討していく予定です。

(2) 交通について

前回の未来委員会で、子どもたちが質問したいことを考え、その質問を事前に交通部に伝えたところ、交通部の3つの課（交通ネットワーク課、公共交通課、自転車^{すいしん}推進課）の方々が来てくれました。バス、自転車、シェアサイクル、通学路についての質問に対して、具体的に現在の市の取り組みを交えて説明していただきました。

説明の中で気になることがあれば、その場で質問し、^{ていねい}丁寧に回答してもらいました。その結果、子どもたちが気にしていた点や、こうしてほしいと感じていたことについて、詳しく知ることができました。



忙しい中ご対応していただいた関係者の方々、本当にありがとうございました。